

Heart News



104th
seirankai
since 1922

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。2026年も地域の方々の生活を生涯にわたって支えることに最善を尽くしてまいります。

INDEX

- P2~P5 新年のご挨拶
- P6~13 2026年各部門・支店の取り組み
- P14~15 青藍会グループ 医師紹介
- P16 外来・訪問診療医師予定表

理念：私たちは、医療・保健・福祉の分野で、地域の方々の生活を生涯にわたって支えることに最善を尽くし、そして、そこで働いていることに誇りを持ちます。

青藍会お客様サポートセンター

ハートコール

0120(2)81056

(受付) 8:30~18:00 (日・祝・GW・お盆・年末年始などの所定の定休日を除く)



青藍会公式サイト



働くスタッフの声



青藍会LINE公式アカウント



青藍会Facebook

新年のご挨拶

青藍会グループ 医療法人社団青藍会
特定社会福祉法人青藍会
代表・理事長 **阿武 義人**



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。平素より当グループに対しまして多大なるご支援とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

2025年は、世界的には異常気象や自然災害の頻発、国際情勢の不安定化に加え、エネルギー価格や物価の高止まりが続き、社会全体が大きな不確実性に包まれた一年でした。国内においても、医療・介護・障害福祉分野では制度改正やデジタル化の本格的な推進が同時に進められ、事業者には一層の効率化と質の向上が求められる状況が続きました。当グループはこうした外部環境の変化を真摯に受け止め、地域の皆さまの生活と健康を支える存在として、日々の歩みを止めることなく取り組みを進めてまいりました。

2025年の主な取り組みとして、まず4月にはあんの循環器内科から「あんの循環器・総合クリニック」に名称変更を行うとともに診察室を拡充し、医療提供体制の強化を図りました。これにより、より多様な疾患・相談に対応できるようになり、地域の「かかりつけ医」としての役割をこれまで以上に果たせる体制が整いました。

また、昨年から継続して進めているDX化においても、電子化による事務負担の軽減、多職種間の情報共有の円滑化、業務フローの見直しなど、現場の働きやすさにご利用者様の利便性向上の両立に取り組んでまいりました。特に在宅ケア領域では、ICTを活用した連絡・記録体制がさらに強化され、ご利用者様の状態変化への迅速な対応が可能となっています。

7月には地域福祉の基盤づくりをより一層推進するべく「社会福祉連携推進法人 はあとライン」が設立し（全国31番目、中四国地方1番目）、その社員法人として、各地の多様な事業者と連携し、資源の共有やサービスの相互補完を図ることで、地域包括ケアの実現に向けた体制強化を進めております。また、8月には今後の事業の持続的な成長とより一層のサービス向上を目的として新たに「株式会社ANNO」を設立し、ホールディングス会社としてその傘下に入る3社について社名を変更いたしました。さらに11月には、人材紹介・派遣業および老人ホーム紹介業を新たに開始し、医療・

介護・福祉に関わる人材確保支援や、利用者・ご家族の皆さまの施設選択をサポートする体制を整えるなど、地域のニーズに寄り添ったサービス領域の拡充にも取り組みました。

当グループとしては、これまでの取り組みだけで満足することなく、

2026年3月 青藍会在宅医療支援センター中央
看護小規模多機能開設

4月 ・ハートクリニック世田谷成城
・青藍会在宅医療支援センターハートハウス
成城訪問看護ステーション
・認定栄養ステーション開設

6月 ハートハウス世田谷岡本（49室）開設
により、2026年以降も在宅ケア支援体制のさらなる強化、人材育成、働きやすい職場環境づくりを山口エリア、世田谷成城エリア、福岡天神エリアで一層推進してまいります。社会経済情勢は依然として不透明であります、私たちが地域の中で果たすべき役割はむしろ大きくなっています。地域の皆さまが「安心して暮らし続けられる」未来を実現するために、医療・介護・福祉の連携をより一層深め、持続可能なサービス提供に努めてまいります。

結びに、皆さまのご健康とご多幸を心より祈念申し上げますとともに、本年も変わらぬご指導ご支援を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。





あんの循環器・総合クリニック
院長 亀田 秀樹

あけましておめでとうございます。本年もよろしくをお願いいたします。

昨年は必須の課題であったクリニックの顔である外来部門機能の充実を目指しました。外来スペースを拡大整備し、青藍会グループの核として4月には「あんの循環器内科」から「あんの循環器・総合クリニック」に名称変更いたしました。まず外来機能充実のために、主たる診療科の循環器内科は常勤スタッフを4月から増員し、様々な検査機器を拡充整備いたしました。また患者さんにとっての利便性などリサーチし膠原病内科の診療を開始しました。本年はDX推進によるクリニックなどの電子カルテの更新があり、今まで以上に診療の効率化、各部門との連携が円滑に行えるように整備する方針です。また総合クリニックという名に恥じないように新たな診療科目の開始ならびに既存の各外来診療科の診療機能の充実をすすめたいと思います。

山口市は令和6年の総人口が186,189人、高齢者57,051人、高齢化率が30.6%ですが今後ますます高齢化の進む地域です。高齢者の訪問診療のニーズは高く、当クリニックは「機能強化型」在宅療養支援診療所として訪問看護師と連携し、24時間365日連絡がとれる体制を構築し、訪問診療部の運営を行ってきました。各診療科の外来が一体になり総合的に診療にあたる体制を整備し、各専門医が専門性を堅持しつつ、住み慣れた地域での生活を支えるため患者様とご家族に寄り添った在宅医療を提供してまいりました。外来の機能の拡充により訪問診療で提供できる専門性も拡充できます。しかし現場のマンパワーの不足な

どを痛感することなどがしばしばありました。医療・介護・福祉の分野は物価高、見合わない報酬、少子高齢化による労働力不足などが全国的に深刻な問題を引き起こしています。このような厳しさの取り巻く環境ではありますが訪問診療含めた在宅医療の充実推進には必須であるスタッフマンパワーの強化を進めたいと思います。住み慣れた地域での生活を支えるため患者様とご家族に寄り添った在宅医療を質および量ともに今まで以上に提供し、また急な体調変化の受け入れや急性期病院からの在宅復帰に向け、入院施設や併設老健などとの円滑な運用を図りながら患者様やご家族にさらに信頼される体制を構築し多職種連携による積極的な支援の充実を目指してゆきたいと思います。

本年も皆様の熱いご支援とともに頑張ってもらいますので、よろしくお願いいたします。





ハートクリニック南山口
院長 松村 孝司

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しく御願い致します。

2025年は2024年年末からのインフルエンザの流行で幕を開けました。当院では大晦日が休日当番だったのですが、従来の休日当番の時と比べはるかに多い100名以上の患者さんが来られ、ほとんどの患者さんがインフルエンザの状態でした。今年も早くからインフルエンザの流行が始まっており昨年同様にかんりの流行になるのではないかと心配です。新型コロナもそうですがこれらの感染症の予防については予防接種が一番ですので、まだ接種されていない方は早急に接種されることをお勧めします。特に65歳以上の方はこれらの感染症で症状が悪化する可能性が高いうえ、予防注射に対する公的補助もありますので発症予防や重症化を防ぐために予防注射を受けてください。

また、昨年度は1月にハートホーム南山口、2月にハートホーム小郡に新しい高齢者住宅南山口50室、小郡46（合計103）室が完成しました。新たに多くの方に御入居いただくことができました。御入居された方々の訪問診療等を担当させていただいておりますが、今後も皆さんが安心して生活を続けていけるように努力を続けていきます。当院では他にも訪問診療を多く行っております。内科訪問以外にも現在整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻科での訪問診療も行っております。施設以外で自宅への訪問も行っておりますので、必要があれば是非御相談ください。さらに当院では入院病棟もあり、自宅退院を目指し加療・リハビ

リテーションを行っています。当法人は各種介護サービスも多数行っているため、退院後の生活も選択肢を多く提供でき可能な限り皆さんの希望に添えるよう努めております。外来においても各種介護サービスとの連携を取ることで、地域の皆さんが安心して自宅で生活していただける体制を整えております。このように各種介護サービスとの連携が強いことが当法人の一番の強みと考えており、その強みを生かせるよう今後も頑張っていきたいと考えています。

2026年はクリニック南山口の前面駐車場が広くなります。

2026年もこれまで以上に地域の皆さんが安心して生活していただけるように努力してまいりますのでどうかよろしく御願いいたします。



リハビリ室



ハートクリニック南山口正面玄関





ハートこどもクリニック新山口
院長 向江徳太郎

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

新年を迎えて喜ばしく晴れやかな気持ちになる一方で、齢五十を超えた頃から身体のどこかしらに痛みを抱えるようになり、行く末に不安を感じることが増えてきました。そんな中インターネットで以下のような記事を見つけたので紹介させていただきます。ダートマス大学のBlanchflower教授らによる大規模分析によると、人生の幸福度は年齢とともにU字型に軌跡を描くとのこと（否定的な論文も発表されてはいます）。若い時に幸せを感じた後は中年期で一時的に低下するものの、高齢期に向かって安定して幸福感が高まっていくとのこと。これは国や教育、経済状況とは関係のない結果のようです。年齢を重ねる中で様々な経験を重ねて、心の安定を得られるようになり、日々の暮らしの中で幸せを感じられるようになってくるといえることらしいです。これから30代、40代を迎えられる方にとってはあまりうれしくない情報でしょうが、何とか乗り切ってまいりましょう。50代以後の方はこういった情報も心に留めながら穏やかに生きてまいりましょう。

本年が皆様にとって実り多く、健やかで、心豊かな一年となるよう祈念申し上げます。今年も受診して下さる方に真摯に向き合い、丁寧な説明を心掛けてまいります。引き続きのご指導とご支援を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。



ハートこどもクリニック新山口正面玄関

山口県では、アレルギーに対応可能な医療従事者を認定・公表することで、自分の症状に合った適切な医療の提供につなげる取り組みとして「山口県アレルギー疾患医療認定制度」を実施しています。当院では院長の向江医師が「やまぐちアレルギードクター」に認定されています。

また、指先から数滴の血液で簡単・迅速にアレルギー検査のできる機器を導入しております。アレルギー疾患でお困りの方はお気軽にご相談ください。



▲やまぐちアレルギードクター（医師）



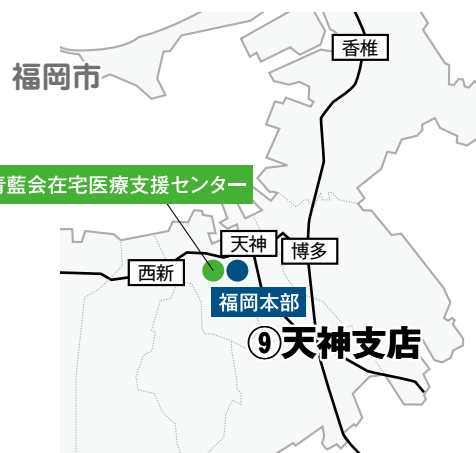
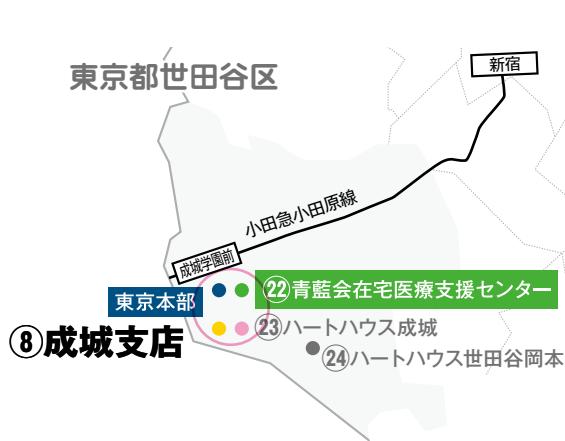
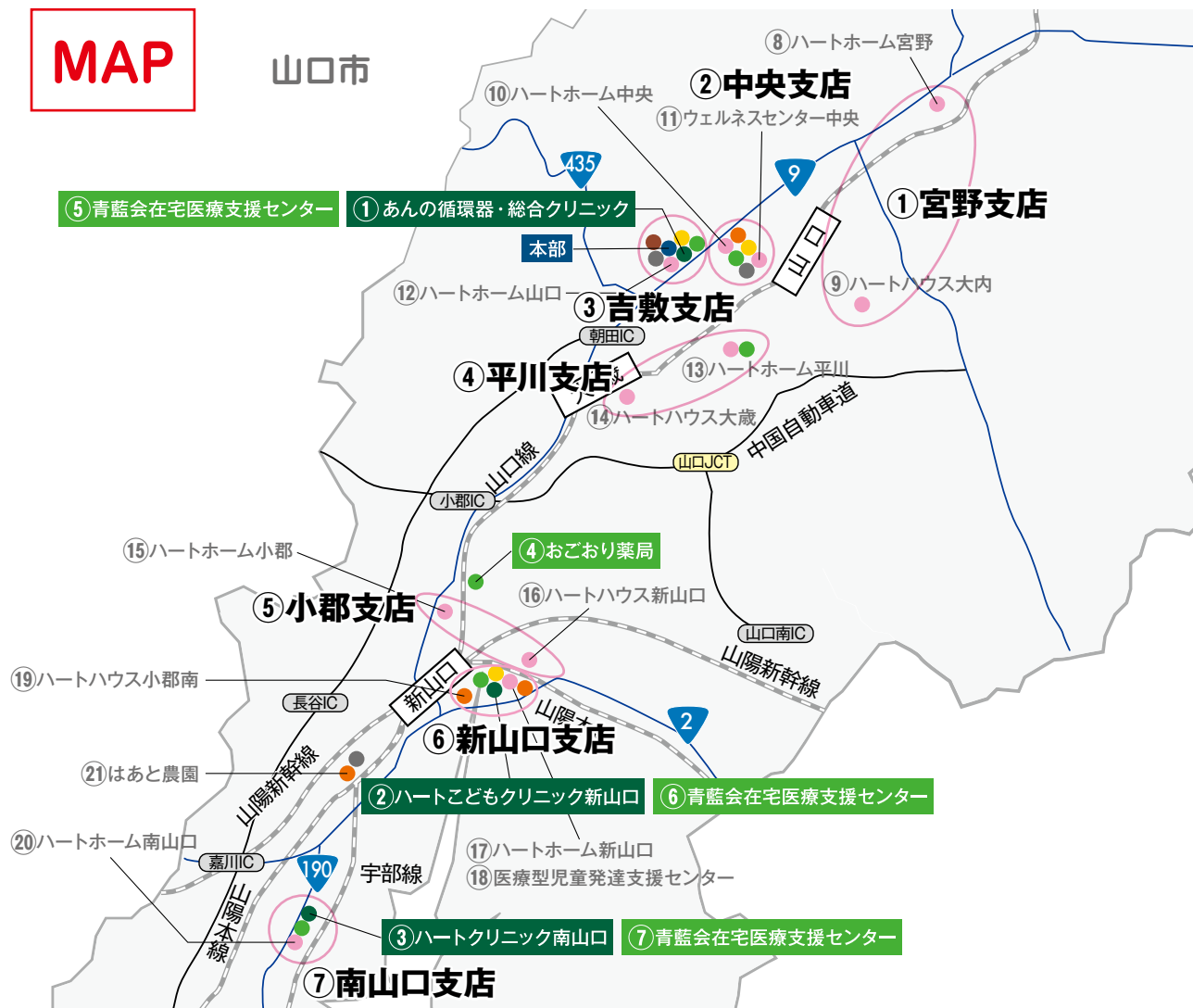
▲アレルギー検査機械（ドロップスクリーン）

〈お知らせ〉

免疫舌下療法（ダニ、スギ花粉）が始められるようになりました。アレルギー薬の効果をあまり感じない方や薬の副作用で眠たくなってしまおう方にお勧めです。花粉シーズンが始まる前にお気軽に相談してください。

2026年各部門・支店の取り組み

謹んで初春のお慶びを申し上げます。平素より青藍会グループの取り組みに対し、多大なるご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。7～13ページでは、各部門・支店の特長、2026年の取り組みについてご紹介いたします。

MAP


医療部 MAP③⑤⑥⑦⑧



医療部 次長

昨年は専門的な医療、訪問診療などの在宅医療、予防や生活習慣病対策、皆さまの健康維持に役立つ取り組みを進めてまいりました。これからも患者様一人ひとりに寄り添い、丁寧な説明と分かりやすい診療を心がけてまいります。

昨年は物価や人件費の上昇が続き、医療現場も大きな変化の中にありました。今年も、医療を取り巻く環境は依然として厳しくなることが予想されます。そのなかで、より効率的で質の高い医療を提供する努力が求められています。特に今年の6月には診療報酬改定が予定されており、物価高騰への対応や医療DXの推進、人材確保が大きなテーマです。当院もこの改定を踏まえ、患者様にとって負担が少なく、安心できる診療体制を整えてまいります。

さらに、薬に関する情報も重要でジェネリック医薬品やバイオ後続品の利用が進み、経済的な負担を軽減しながら安全性を確保する取り組みが広がっています。当グループでは、薬の選択についてわかりやすい説明を心がけ、納得いただける治療をサポートいたします。

今年も地域の皆さまにとって身近で頼れる医療機関であり続けるため、スタッフ一同努力を重ねてまいります。どうぞお気軽にご相談ください。皆さまの一年が健やかで笑顔に満ちたものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。

どうぞ本年もよろしくお願いいたします。

看護部（訪問看護／看護小規模多機能） MAP②③⑥⑦⑧⑨



看護部 部長

看護部は、訪問看護および看護小規模多機能型居宅介護のサービスを通じて、住み慣れた地域で最期まで安心して過ごせる環境づくりを最大限に支援しております。私たちは24時間365日、医師の指示のもとで質の高い医療・看護を提供し、利用者様一人ひとりの在宅生活の限界点を見極めながら、適切なケアを実践しています。

看護小規模多機能型居宅介護の強みは、訪問看護、通い、泊りのサービスを柔軟に組み合わせることで、利用者様の状態や生活環境の変化に即対応できる点にあります。この多機能性を活かし、急な体調変化や介護負担の増大にも迅速に対応し、利用者様とご家族様の安心を支えています。今年もこの強みをさらに深化させ、地域包括ケアの中核としての役割を果たしてまいります。

また、在宅での医療・介護の質を高めるため、スタッフの専門性向上に努めるとともに、チーム医療の推進を強化します。医師やケアマネジャー、介護スタッフとの連携を密にし、利用者様のニーズに即した最適なプランを作成・実行していきます。ICTの活用も積極的に進め、情報共有の迅速化とケアの質の向上に寄与してまいります。

私たち看護部は、利用者様が住み慣れた地域で尊厳を持って暮らし続けられるよう、心を込めた看護・介護サービスを提供し続けます。今年も地域の皆様の信頼に応えられるよう、一層の努力を重ねてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

定期巡回 MAP②④⑥⑧⑨

～地域で「自分らしく」暮らすを支える～

定期巡回部 部長



私たち定期巡回部は、地域の皆さまが「自分らしく最期まで生活する」ことを支えることを使命とし、定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び訪問介護（障がい者支援を含む）サービスを提供しております。昨年はICT技術や見守りセンサーの活用をさらに推進し、利用者様の安心・安全な生活環境の実現に努めてまいりました。

本年も、地域の多様なニーズに応えるため、サービスの質の向上と効率化を図り、よりきめ細かな支援を目指します。ICTや見守りセンサーの導入は、単なる技術の活用にとどまらず、利用者様一人ひとりの生活リズムや健康状態を的確に把握し、迅速な対応を可能にする重要なツールです。これらを最大限に活用し、スタッフ間の情報共有を強化することで、より安全で安心できるサービスの

提供に努めてまいります。

また、障がいをお持ちの方々にも寄り添い、その方らしい生活の実現を支援するため、専門的な知識と技術の研鑽を続けてまいります。地域の医療機関や福祉施設、行政機関との連携を深め、多職種協働による包括的な支援体制の構築にも力を入れていきます。

私たち定期巡回部は、利用者様とご家族様の声に耳を傾け、信頼関係を大切にしながら、地域に根ざしたサービスを提供し続けます。今年も「自分らしく最期まで生活する」という理念のもと、一人ひとりの尊厳を守り、安心して暮らせる地域社会の実現に向けて全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

居宅 MAP③⑥⑧

MSW部 次長
居宅 支店長

山口エリアは、2つの居宅介護支援事業所に計24名のケアマネジャー（うち主任ケアマネジャー7名）が在籍し、地域の皆さまの在宅生活を支えるお手伝いをしています。大規模事業所ならではの安心感と、法人内外の多職種との連携力を生かし、医療的ケアが必要な方や、急な入院・退院支援にも迅速に対応できる体制を整えています。また、相談・指導体制も充実しており、複雑なケースにもチームで取り組むことで、より質の高いケアマネジメントを提供できることが大きな強みです。

2026年は、これまで以上に「安心して暮らし続けられる地域づくり」に貢献することを目指し、ICTやAIを活用した業務効率化、ケアの質向上に向けた研修の強化、エビデンスに基づくケアマネ

ジメントの推進など、時代に即した取り組みをさらに進めていきます。特に、在宅医療や看取り支援への対応力を高め、皆さまの不安に寄り添いながら暮らしを支えられる体制づくりに力を注いでまいります。

これからも青藍会のケアマネジャーは、地域の皆さまにとって身近で頼れる存在でいられるよう、丁寧であたたかい支援を心がけてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

宮野支店 MAP①

昨年中は、当施設の運営にご支援、ご協力賜り、心より感謝申し上げます。2026年も皆様と共に、より良いサービスを提供し、安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。

当施設では、特別養護老人ホーム（特養）、脳活性リハビリ（認知症対応型通所介護）、あんしんホーム（有料老人ホーム）、そして児童クラブの各事業を通じて、地域社会に貢献していくことを目指しています。また、幅広い年代の方を受け入れている当施設の強みを生かし、これからも世代間交流や利用者様一人ひとりの尊厳を守りながら、その人らしい生活を支援することに最善を尽くし、日々の業務に取り組んでまいります。



宮野 支店長

～2026年に向けた取り組み～

今年も、当施設は「人を大切にする」気持ちをさらに深め、より質の高い支援を目指してまいります。認知症ケアや介護技術、スタッフ教育や接遇など、専門技術・知識の向上に力を入れ、利用者様が笑顔で過ごせる環境を作り上げていきます。

新年を迎え、当施設が皆様にとって「安心の拠り所」となり、さらに信頼できる施設であり続けるために、スタッフ一同、力を合わせ、心のこもったサービス提供に努めてまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026年が皆様にとって、健康と幸福に満ちた一年になりますようお祈り申し上げます。

中央支店 MAP②

中央支店は、高齢者住宅「あんしんホーム」、定員110名の大規模デイサービス「デイトレセンター」、フィットネスクラブ「メディフィットクラブ」、特別養護老人ホーム「ハートホーム中央」、ショートステイ、ホスピス住宅を有し、住まい・介護・医療・健康づくりを一体的に支える複合施設です。これらの事業所が集約されていることにより、状態やライフステージの変化に応じた切れ目のない支援を実現しています。

ウェルネスセンター中央は、トレーニングジムや温泉を備え、地域の方々も気軽に立ち寄れる多世代交流施設です。施設内には、要介護状態になっても「できる力」を引き出すことを重視した大規模デイサービス「デイトレセンター」をはじめ、高齢者住宅「あんしんホーム」、フィットネスクラブ「メディフィットクラブ」が併設され、暮らし・介護・健康づくりを一体的に支えています。

あんしんホームではIoTを活用した見守り体制により安心・安全な生活を支え、メディフィットク



中央 支店長

ラブでは最新機器とデジタル技術を活用した運動の見える化を実施しています。デイトレセンターでは、大規模ならではの多様なプログラムとリハビリを通じて、自立支援と生活機能の維持・向上に取り組んでいます。さらに、ハートホーム中央、ショートステイ、ホスピス住宅においても、多職種が連携し、ご本人らしい生活を大切にした支援を行っています。

また地域との関わりとして、こんこんパークを会場に「WellBeing Project with 山口市ずっと元気プロジェクト」を実施しています。運動教室や健康講座を通じ、年齢や立場を問わず、地域の皆さまと健康について学び、交流できる場づくりを進めています。

2026年は、自立支援の深化とデータに基づく質の高いケアをさらに推進するとともに、各事業所の強みを生かした連携を強化し、地域とともに健康と安心を育む拠点を目指してまいります。

吉敷支店 MAP③

吉敷 支店長



吉敷支店は、地域の皆さまが安心して暮らし続けられるよう、複数の介護・福祉サービスを一体的に提供しています。介護老人保健施設では、医療とリハビリを通じて在宅復帰や生活機能の維持を支援し、認知症対応型通所介護では、認知症の方が自分らしく過ごせる環境づくりを大切にしています。また、高齢者住宅では見守り体制のもと、安心した日常生活を支え、福祉用具事業所では一人ひとりの生活状況に合わせた用具の提案・調整を行っています。

吉敷支店の強みは、これらの事業所が密に連携し、「住まい・介護・リハビリ・福祉用具」を切れ目なく提供できる点です。利用者様の状態変化にも柔軟に対応でき、住み慣れた地域での生活を長

く続けられるよう支援しています。専門職同士の情報共有も活発で、より質の高いケアの実現につながっています。

2026年は、地域とのつながりをさらに深めるため、相談機能の充実や分かりやすい情報発信に力を入れていきます。また、ICTの活用や職員の専門性向上を進め、より安心・安全で信頼されるサービス提供を目指します。今後も青藍会吉敷支店は、地域に寄り添い、共に支え合う施設として歩み続けてまいります。

平川支店 MAP④

平川 支店長



ハートホーム平川は2003年4月の開設以来、「緑」と「水」をテーマにした設計のもと、機能性だけでなく生活環境の快適さを大切にした空間づくりを続けてまいりました。自然光が差し込み、心地よい風が通る多くの窓や、明るく開放的な吹き抜けの天窓は、利用者様同士やスタッフとの繋がりを自然に育む環境を実現しています。

1階の認知症対応型通所介護施設では、活気ある声や音楽が施設全体に響き渡り、地域や他の利用者様との交流を大切にした運営を行っています。また、1階には通所サービスと居住スペース（18室）、2階・3階には全94室の多様な住宅を備え、ご夫婦でのご入居も可能な広さのお部屋をご用意しております。同じ敷地内に併設された「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」事業所と連携し、24時間365日体制で安心の介護・医療サポートを提供しております。訪問診療や訪問看護との

連携も強化し、利用者様が「最期まで自分らしく過ごす」ことができる環境づくりに努めております。

1階にある認知症対応型通所介護では、3ユニット36名定員のフロア全体を活用し、個別ケアや運動プログラム、地域ボランティアによるレクリエーション活動を通じて、認知機能や運動機能の維持・向上を目指しています。これにより、認知症の進行を遅らせ、できる限り在宅生活の継続を支援しております。

利用者様が安心して笑顔で過ごせる環境づくりを最優先に、施設内外の連携を活かしながら、利用者様一人ひとりに寄り添った支援を行うことで、「その人らしい生活」を送れるよう、当グループ内での資源を最大限に活かし、利用者様一人ひとりのお手伝いをしていきます。

小郡支店 MAP⑤



小郡 支店長

ハートホーム小郡は、JR新山口駅在来線口から徒歩10分の便利な立地にあり、スーパーや書店、飲食店、金融機関、行政施設、図書館、郵便局などが徒歩圏内に揃い、日常生活の利便性が高い環境です。近隣には国道2号線や山口宇部道路もあり、遠方のご家族や知人とのアクセスも良好です。

施設内には、サービス付き高齢者住宅「あんしんホーム」57室、住宅型有料老人ホーム「あんしんホーム2」46室、認知症対応型通所介護（脳活性リハビリ）、小規模多機能型居宅介護が整備されています。これらのサービスに加え、法人内の定期巡回や訪問看護、訪問診療と連携し、入居者の生活を24時間365日支えています。

サービス付き高齢者住宅は20.01㎡の広めの個室で、一人でもご夫婦でも快適に過ごせます。住宅型有料老人ホームでは夜間も看護師が常駐し、

医療・介護の連携や見守りシステムを導入して安心の生活を提供。医療面では、連携するハートクリニック南山口の医師による訪問診療や訪問看護ステーション、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が体調管理や緊急対応を行い、入居者の健康をしっかりとサポートしています。

また、ハートハウス新山口のホスピス住宅は、がん末期や難病患者のための専門的な緩和ケアを提供。訪問看護師が24時間常駐し、ご本人とご家族が最後までその人らしく過ごせる環境を整えています。

今年度は職員一人ひとりが多機能に動き、利用者の些細な変化にも気づけるよう努め、健康や生活の困りごとに対してきめ細やかな支援を行ってまいります。

新山口支店 MAP⑥



新山口 支店長

ハートホーム新山口は「暮らしの安心を支える」という理念のもと、地域の皆様が安心して笑顔で暮らせる社会の実現を目指しています。事業所ではサービス付き高齢者向け住宅をはじめ、居宅介護支援事業所、訪問看護、定期巡回・随時対応型訪問介護、看護小規模多機能型訪問介護看護など、多様な介護・看護サービスを提供しています。

また、はあと保育園新山口・ハートこどもクリニック新山口、医療型児童発達支援センター（児童発達支援・放課後等デイサービス、生活介護）も併設しており、乳幼児から高齢者まで切れ目のない包括的なケアを実現しています。

2026年の抱負として、より一層「安心」と「笑顔」を大切にしたいサービスの質向上に取り組みま

す。スタッフ一人ひとりが利用者様の生活に寄り添い、心の通ったケアを提供することで、利用者様の自立と充実した毎日を支えていきます。地域の多様なニーズに応えるため、福祉・医療・保育の連携を強化し、安心して暮らせる環境づくりを進めてまいります。

ハートホーム新山口は、これからも「安心」と「笑顔」を提供し続け、地域社会の一員として皆様の暮らしを支えていきます。今後ともご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

南山口支店 MAP⑦

ハートホーム南山口は、デイサービス、認知症対応型通所介護、ショートステイ、住宅型有料老人ホーム、看護小規模多機能型居宅介護といった複数の介護サービスを展開し、利用者様の生活状況や心身の状態に応じた切れ目のない支援を行っております。日中の活動支援から短期・長期の生活支援まで、多様な選択肢を一体的に提供できることは、当事業所の大きな強みです。

また、併設するハートクリニック南山口の外来・入院機能との連携により、介護と医療が日常的に情報を共有しながら支援できる体制を整えています。体調変化への迅速な対応や、医療的視点を踏まえた生活支援を行えることは、利用者様やご家族様にとって大きな安心につながっています。

2026年は、こうした介護と医療の連携体制を

南山口 支店長



さらに活かしながら、地域との関わりを一層深める一年にしていきたいと考えています。地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、医療機関との連携を強化するとともに、情報発信や地域交流を通じて、ハートホーム南山口を「困った時にまず相談できる存在」として地域に根付かせていくことを目指します。

あわせて、職員一人ひとりが地域の一員として関わる意識を持ち、日々の支援や対話の積み重ねを大切にすることで、顔の見える関係づくりを進めていきたいと考えています。

成城支店 MAP⑧

昨年も、多くの皆さまに支えていただきながら、地域での介護サービスを続けてまいりました。私たちの特別養護老人ホームでは、穏やかな暮らしを大切に、ゆったりとした環境の中で、その方の生活リズムや想いに寄り添ったケアを行っています。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護では、24時間365日の安心を届けるため、きめ細やかな見守りと迅速な対応を心がけ、ご自宅での暮らしを支えています。

また、居宅介護支援事業所では、ご利用者のご家族に寄り添いながら、医療・介護・地域をつなぐ“相談の窓口”として、分かりやすく丁寧なケアプランづくりに努めています。

現在は、2026年6月に世田谷区岡本で開設予

成城 支店長



定の有料老人ホームの準備が進んでいます。新しいホームでは、24時間の見守りや医療機関との連携に加え、季節を感じられる食事や無理のないリハビリ、ゆったり過ごせる共有スペースなど、“ほっとできる居場所”づくりを大切にしています。地域の皆さまとの交流が自然に生まれ、日々の中に小さな楽しみが増えていくようなホームを目指しています。

これからも、ご利用者、ご家族、そして地域の皆さまと共に、安心して暮らせる環境を育んでまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

障がい部 MAP②⑥

障がい部 部長



障がい部は、児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護、就労支援といった多様なサービスを通じて、子どもから大人まで幅広い年齢層の利用者様一人ひとりの自立と社会参加を支援しております。私たちは、利用者様の個々の特性やニーズを深く理解し、その人らしさを尊重した寄り添う支援を心がけています。

昨年は、医療的ケアを必要とするお子様への対応力を強化し、安心してご利用いただける環境づくりに努めてまいりました。また、生活介護や就労支援においても、利用者様の能力や希望に応じたプログラムの充実を図り、社会での自立を目指す方々の力となることを目標に取り組みを行いました。

本年も、利用者様の成長や生活の質の向上を第

一に考え、専門的な知識と技術の研鑽を続けてまいります。

児童発達支援・放課後等デイサービスでは、医療的ケア児を含むすべての子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりをさらに推進し、保護者の皆様の負担軽減にも寄与していきます。生活介護や就労支援においては、個々の強みを活かした支援計画を作成し、利用者様が自信を持って社会参加できるようサポートいたします。

また、地域や関係機関との連携を一層強化し、包括的な支援体制の構築に努めてまいります。利用者様とそのご家族が安心して暮らせる社会の実現に向け、障がい部一同、心をひとつにして取り組んでまいります。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

こども部 MAP①②③⑥⑧

子ども部 部長



当グループの保育園には、以下の8つの特長があります。

①**教育プログラムの充実**：英語教育や体操プログラムなど特色あるカリキュラム②**衛生管理の徹底**：食育やアレルギー対応、感染症対策。③**保護者支援**：延長保育や病児保育対応④**コミュニケーションの充実**：アプリでの連絡、写真共有、成長記録。⑤**地域連携**：地域ニーズや福利厚生の一環として自社職員向けに提供するサービス⑥**働きやすい環境**：残業削減、福利厚生、キャリアアップ支援。⑦**離職率の低さ**：安定した人材確保は保育の質に直結⑧**ICT導入**：登降園管理、保育記録のデジタル化。

上記に加え、本年は以下の点に力を入れていきます。

1. 「地域とともに、子どもの未来を育む。」/「家族と園が、もっと近くなる場所。」

OYA塾などを通して、育児相談・地域交流の場を提供します。園が地域の子育て支援拠点になり、保護者同士のネットワークや専門家相談がしやすくなる環境

を構築します。

2. 「働くママも、専業主婦ママも、みんなにやさしい。」/「あなたのライフスタイルに寄り添う園。」

2026年4月より、認可保育園2園が保育所型認定こども園に移行します。それに伴い、専業主婦世帯（1号認定）から共働き家庭（2・3号認定）まで、誰でも利用可能になることで、これまで以上に、園児と保護者にとって選択肢が広がります。

3. 「遊びも学びも、毎日ここから。」/「学びと育ちを、一つの園で。」

教育的要素を取り入れ、子どもの成長に合わせた様々なプログラムを提供します。

4. 「ずっとここで、ずっと安心。」

今年も、より一層地域に根ざした施設運営に向け、職員一丸となり、少しでも様々な方のご支援ができるよう尽力いたします。

【青藍会グループ 医師紹介】 あんの循環器・総合クリニック

外来	外来	訪問	外来	訪問	外来	訪問	外来	訪問
								
理事長 阿武 義人 日本循環器学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本医師会認定産業医 日本医師会認定健康スポーツ医 THP健康測定研修修了医 介護支援専門員 認知症サポート医 緩和ケア研修会受講修了	院長 亀田 秀樹 日本脳神経外科学会専門医 日本認知症学会専門医・指導医 認知症サポート医 やまぐちPREMIUMオレンジドクター	副院長 小野 史朗 日本循環器学会認定循環器専門医 日本超音波医学会超音波専門医・指導医 日本内科学会認定内科医	藤谷 薫 日本外科学会認定医 日本医師会認定産業医 日本医師会認定スポーツ医	名西 史夫 日本内科学会認定内科医 日本腎臓学会専門医 日本透析医学会専門医 日本医師会認定産業医	萬納寺 洋道 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会認定脳卒中専門医			
外来	訪問	外来	外来	外来	外来	訪問・眼科		
								
村田 和弘 日本リハビリテーション医学会指導医・専門医・臨床認定医 日本プライマリ・ケア連合学会指導医・家庭医療専門医 日本臨床栄養代謝学会認定医 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士 日本嚥下医学会嚥下相談医	宮川 一平 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医 日本リウマチ学会専門医 日本リウマチ学会評議員	川井 元晴 元山口大学医学部教授 日本認知症学会認定専門医 日本神経学会認定神経内科専門医	野原 大嗣 膠原病内科	阿武 雅子 内科	二宮 元 日本眼科学会眼科専門医 日本抗加齢医学会専門医			
訪問・整形外科	訪問・皮膚科	訪問・皮膚科	訪問・形成外科	訪問・耳鼻科	訪問・歯科			
								
横内 雅博 整形外科	原口 祐子 皮膚科	専徳 健太 皮膚科	森下 有紀 形成外科	猿渡 雄吉 耳鼻咽喉科	川野 多加子 歯科			
訪問・歯科	<div><div></div><div><div>休日当番</div><div>1月3日(土) 25日(日)</div><div>8:30~18:00</div><div>おごおり薬局</div></div><div></div></div>							
								
藤本 勝廣 歯科								

ハートクリニック南山口

外来	訪問	外来	訪問	外来	訪問	訪問・整形外科	訪問・皮膚科	訪問・眼科
								
院長 松村 孝司 日本脳神経外科学会専門医 介護支援専門員 やまぐちPREMIUMオレン ジドクター	福谷 敏彦 日本外科学会認定医 麻酔科標榜医 麻酔科学会認定医・専門医	鵜池 直邦 日本血液学会専門医、指導医	倉員 忠弘 日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会認定リウ マチ医 日本医師会認定産業医	専徳 健太 皮膚科	二宮 元 日本眼科学会眼科専門医 日本抗加齢医学会専門医			
訪問・形成外科	訪問・耳鼻科	<div>  <div> 休日当番 1月4日(日) 9:00~18:00 ハートクリニック南山口 </div>  </div>						
								
森下 有紀 形成外科	伊藤 博子 耳鼻咽喉科							

ハートこどもクリニック新山口

外来	訪問	外来	外来	外来
				
院長 向江 徳太郎 日本小児科学会小児科専門医 日本救急医学会救急科専門医	友近 喜代子 小児・発達外来	岡 桃子 日本小児科学会小児科専門医 日本小児神経学会小児神経専門医	桑原 奈津子 日本小児科学会小児科専門医	

木曜・土曜午後も
診療しています！



ご寄付・ご協力への御礼

〈寄付者のご紹介〉

坂井 直子 様、ビヨンドザブルー株式会社 様、藤原 富子 様、長野 芳夫 様、有山 美彦 様、株式会社
レオパレス21 中四国プロパティマネジメント部 様、松崎 孝徳 様、Coalition 株式会社 様、株式
会社 中電工 山口統括支社 営業部 様、株式会社ヤクルト山陽 様、株式会社 山口グランドホテル 様、
貞廣 浩和 様、山口トヨペット株式会社 様、原田 紀明 様、藤井 靖 様、小村 好子 様、長縄 直子 様、
株式会社エムステージ RPO事業部 大阪営業部 様、野方 俊太郎 様、峰田 哲朗 様、Suinas Consulting
株式会社 様、タンデムクロス株式会社 様、山本 理恵 様、藤原 英理 様

このたびは、社会福祉法人青藍会へ温かいご寄付・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。
皆さまからお寄せいただいた寄付金は、社会福祉法人の大切な財源として、地域社会への貢献活動
をはじめ、さまざまな取り組みに有効に活用させていただきます。

ご協力いただいた皆様のお名前はハートホーム中央・ハートホーム山口玄関に「青藍会の樹」とし
て掲示しています。

今後とも、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

ご寄付に関するお問い合わせは、**総務課 (T 083-933-6000)** までご連絡ください。

【2026年1月 外来・訪問診療医師予定表】

		診療科	月	火	水	木	金	土
外 来	あんの循環器・総合クリニック	循環器内科	阿武 義人 小野 史朗	阿武 義人 小野 史朗	阿武 義人 小野 史朗	小野 史朗	阿武 義人	山大医師
		脳神経外科 (もの忘れ外来)						亀田 秀樹
		内科	藤谷 薫	藤谷 薫	藤谷 薫	藤谷 薫 名西 史夫	藤谷 薫	藤谷 薫 宮川 一平
		膠原病内科					野原 大嗣	
		眼科				11:00～ 二宮 元		
		循環器内科	阿武 義人 小野 史朗	阿武 義人 小野 史朗	阿武 義人		阿武 義人 小野 史朗	
		脳神経外科 (もの忘れ外来)					亀田 秀樹	
		内科	藤谷 薫	藤谷 薫 阿武 雅子	藤谷 薫		藤谷 薫	
		整形外科			横内 雅博			
	新山口	小児科	向江 徳太郎	向江 徳太郎	向江 徳太郎	向江 徳太郎	向江 徳太郎	桑原 奈津子
		発達相談外来	友近 喜代子				岡 桃子	
		小児科	向江 徳太郎	向江 徳太郎	向江 徳太郎	向江 徳太郎	向江 徳太郎	桑原 奈津子
		発達相談外来	友近 喜代子			第1・3・5週 友近 喜代子	岡 桃子	
	南山口	脳神経外科 (もの忘れ外来)	松村 孝司		松村 孝司		松村 孝司	松村 孝司
		循環器・内科	鵜池 直邦	福谷 敏彦		鵜池 直邦		山大医師
		脳神経外科 (もの忘れ外来)	松村 孝司		松村 孝司			
		循環器・内科	福谷 敏彦 鵜池 直邦	福谷 敏彦	福谷 敏彦		福谷 敏彦	
訪 問	内科		亀田 秀樹	亀田 秀樹	亀田 秀樹	亀田 秀樹 藤谷 薫	亀田 秀樹 小野 史朗	
				萬納寺 洋道	萬納寺 洋道	萬納寺 洋道	萬納寺 洋道	
				松村 孝司		松村 孝司		
			福谷 敏彦 鵜池 直邦		福谷 敏彦 鵜池 直邦	福谷 敏彦 鵜池 直邦	福谷 敏彦	
		眼科			第1・3・4週 二宮 元	二宮 元		
		整形外科		倉員 忠弘	横内 雅博			
	皮膚科				専徳 健太			第2・4週 専徳 健太
	耳鼻咽喉科	伊藤 博子				猿渡 雄吉		
	形成外科		森下 有紀	森下 有紀				
	小児科	向江 徳太郎	向江 徳太郎	向江 徳太郎	向江 徳太郎	向江 徳太郎	向江 徳太郎	
	VE(嚥下内視鏡検査)		村田 和弘					
	歯科	川野 多加子	川野 多加子	川野 多加子	川野 多加子	川野 多加子	川野 多加子	
		藤本 勝廣	藤本 勝廣	藤本 勝廣	藤本 勝廣	藤本 勝廣	藤本 勝廣	
	訪問薬剤指導	○	○	○	○	○	○	○
	訪問栄養指導	○	○	○	○	○	○	○
	訪問リハビリ	○	○	○	○	○	○	○

山口エリア

- あんの循環器・総合クリニック T083(924)1151 ■ハートこどもクリニック新山口 T083(976)2450 ■ハートクリニック南山口 T083(988)3333
 ■おごおり薬局(山口調剤センター) T083(974)1660 ■メディキッズ山口 T083(941)5311 ■メディキッズ新山口 T083(976)2450
 ■青藍会在宅医療支援センター山口 訪問看護ステーション T083(933)6020
 ■青藍会在宅医療支援センター山口 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 T083(934)7600
 ■青藍会在宅医療支援センター中央 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 T083(941)6740
 ■青藍会在宅医療支援センター新山口 訪問看護ステーション T083(976)2400
 ■青藍会在宅医療支援センター新山口 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 T083(976)2400
 ■青藍会在宅医療支援センター新山口 看護小規模多機能型居宅介護 T083(976)2400
 ■青藍会在宅医療支援センター南山口 訪問看護ステーション T083(988)3300
 ■青藍会在宅医療支援センター南山口 看護小規模多機能型居宅介護 T083(988)3300

東京エリア

- 青藍会在宅医療支援センターハートハウス成城 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 T03(3416)4160

福岡エリア

- 青藍会在宅医療支援センター天神 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(2027.2 開設予定)